

Publication number : 05-050986

Date of publication of application : 02.03.1993

Int.Cl. B63G 8/00

Application number : 03-289053

Date of filing : 15.08.1991

Inventor : KOSHIZAWA RYOSUKE

SHIP HAVING WINGS

Abstract:

PURPOSE: To make a ballast tank for a submarine smaller and to increase inboard space by providing wings along the port and starboard sides of the submarine to allow underwater navigations by means of a water current.

CONSTITUTION: A hull 10 has sufficient buoyancy, is configured as a sealed structure, and has wings 1 installed on the port and starboard sides of the hull 10. An elevator 2 and a rudder 3 are installed on the wing 1 and a screw 14 is provided at the stern of the hull 10. This screw 14 is rotated by driving a motor 5 by means of a battery to provide thrust. In addition, the hull 10 has an oxygen bomb provided so that passengers can endure long underwater navigations and approximately spherical transparent glass hatch 9 is provided at the top of a cockpit 8 so that the passengers can see the external environment clearly.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-50986

(43) 公開日 平成5年(1993)3月2日

(51) Int.Cl.⁵

B 6 3 G 8/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

J 7721-3D

Z 7721-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-289053

(22) 出願日 平成3年(1991)8月15日

(71) 出願人 591246539

越澤 亮介

神奈川県横浜市港南区東芹ヶ谷10-8

(72) 発明者 越澤 亮介

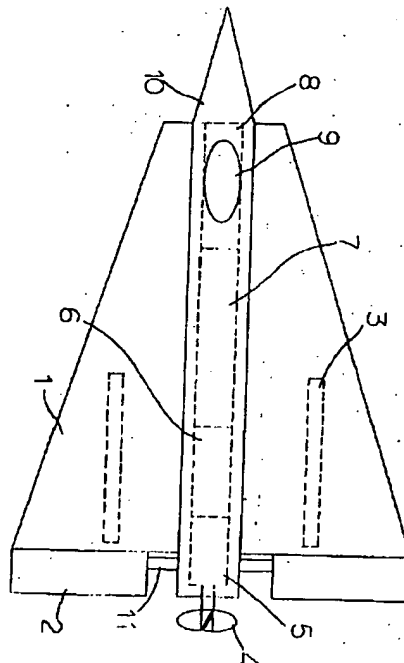
神奈川県横浜市港南区東芹ヶ谷10-8

(54) 【発明の名称】 翼を有した船舶

(57) 【要約】

【目的】 安全で容易に小型化出来る、潜航可能な船舶をつくることを目的である。

【構成】 船体に翼と昇降舵を取り付けた、潜航可能な船舶。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 船体に翼を取り付けた船舶。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、翼を有した船舶に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 潜航可能な船舶といえば潜水艦である。これは船体を二重構造とし、バラストタンクに水を注入し、船体を重くして潜航、圧縮空気でバラストタンクの水を排出して浮上するというものである。

【発明が解決しようとする課題】 これには次のような欠点があった。大型のバラストタンクにより船内スペースが限られてしまうため、小型船舶に応用するのが困難であった。構造が複雑で故障の恐れがある。特に潜航時にバラストタンクから水を排出する装置が故障すれば、乗員の生命を危険にさらすこととなる。本発明はこの欠点をなくし、潜水艦に変わる新しい船舶をつくろうと考えた。

【0003】

【課題を解決するための手段】 さまざまな実験と理論の結果、浮力を有した船舶（必要によっては二重構造とする）を密閉し、その船体（10）に飛行機のような翼（1）や昇降舵（2）を取り付け、水流に乗せて潜航させることが最上であることを発見した。なお、翼（1）と昇降舵（2）は着水時に水面（12）より下になるよう取り付ける。

【0004】

【作用】 本発明は以上のような構成であるから、翼（1）によって船体（10）を支持し、昇降舵（2）で潜水角度を決め、スクリュウ（4）やモーター（5）等の推進力で潜航する。潜航時は昇降舵（2）、方向舵（3）により、船体（10）をさまざまな姿勢にし、スクリュウ（4）やモーター（5）等の推進力で自由自在に泳ぎまわることが可能である。また、船体（10）に浮力を有するので自然浮上することも出来る。

【0005】

【実施例1】 本発明の第1の実施例を図1に基づいて説明する。船体（10）には十分な浮力を持たせ、密閉してある。船体（10）に翼（1）を取り付ける。翼（1）には昇降舵（2）、方向舵（3）を取り付けてある。スクリュウ（4）が船体（10）に取り付けてある。モーター（5）、電池（6）により動力を得てい

る。乗員が長時間潜航に耐えられるよう、酸素ポンベ（7）を備えてる。操縦室（8）の上部は透明なガラスハッチ（9）により密閉されている。

【0006】

【実施例2】 他の実施例を図3に基づいて説明する。第1の実地例と同じ部分には、同一の符号をつけてある。第1の実地例と異なるのは、翼（1）を回転軸（11）に取り付けて、昇降舵（2）を取り付けていないことである。これは翼（1）を回転軸（11）に取り付けたことにより、上下動させることが出来るので、翼（1）と昇降舵（2）の効果を合わせ持つことが出来るからである。

【0007】

【発明の効果】 本発明は以上のような構成であるから、バラストタンクを大幅に小型化することが出来る。船内スペースを大きくとることが可能となり、小型船舶に応用することも出来る。船体を小型化することにより制作費用は低くなり、個人が娯楽道具として使用することも出来る。自然浮上するので、乗員の危険を減らすことが出来る。船内を密閉するので、積載する酸素のある間は嵐による沈没事故等を防ぐことが出来る。鯨等の多い海域も安全に潜航出来る。（特に撮影等）漁業にも利用出来る。浮上時に昇降舵を調整すれば、通常のポートとして使用することも出来る。また、これは模型化して玩具とすることも出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1の実施例を示す平面図

【図2】 本発明の第1の実施例を示す側面図

【図3】 本発明の第2の実施例を示す平面図

【図4】 本発明の第2の実施例を示す側面図

【符号の説明】

1は翼

2は昇降舵

3は方向舵

4はスクリュウ

5はモーター

6は電池

7は酸素ポンベ

8は操縦室

9は透明なガラスハッチ

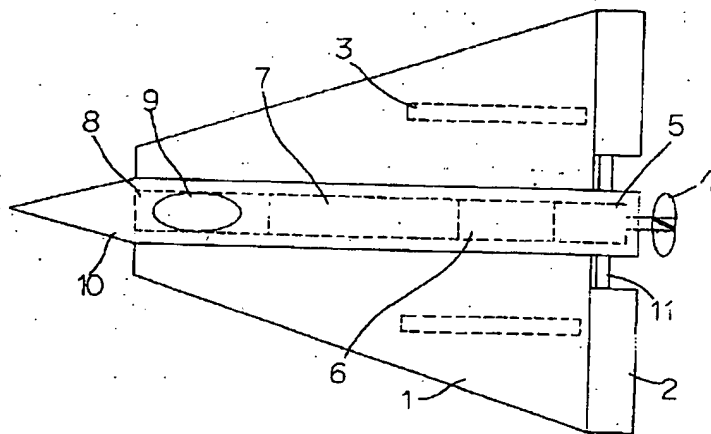
10は船体

11は回転軸

12は水面

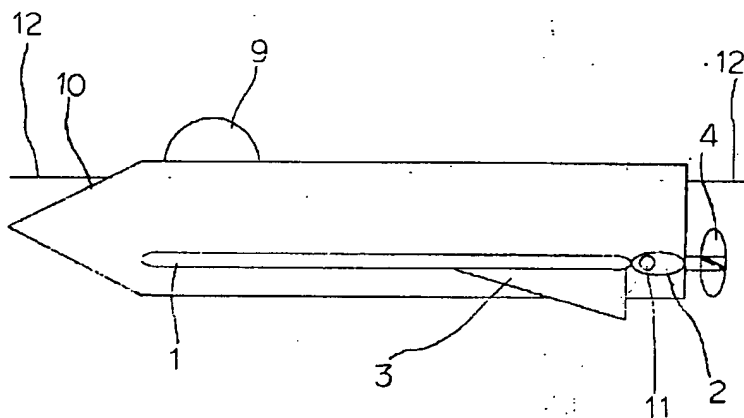
【図1】

【図1】



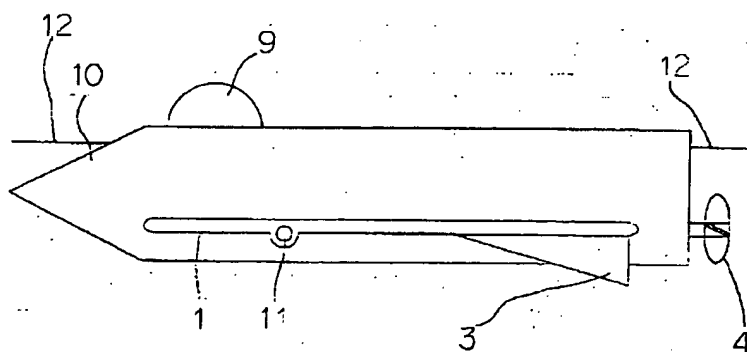
【図2】

【図2】



【図4】

【図4】



【図3】

【図 3】

